

# どう関わる？思春期の子ども (大清水小 2017/6)

(わが子にスマホがほしいと言われたら)

明照保育園 園長 中島 章裕

～スマホ問題は、思春期の親子関係の問題～

○ 小学生になったけれど・・・(「つ」が付くまでは手を掛ける・・・)

○ 内閣府が 2014 年3月31日に行った調査では、自分専用の携帯電話やスマートフォンを持っている割合は、小学生で30.3%、中学生で48.8%、高校生で96.4%。  
(家族で共有も入れるともっと上がる)

○ 『 思春期って? 』(思春期の子どもに言われて傷ついた言葉)

うざい！汚い！ジャマ！重い！嘘ばかり！触らないで！関わらないで！死ね！  
お母さんから離れたい！こんな家に生まれてくるんじゃない！ばばあ！くそじじい！

この時期の子どもは、甘えたと思えば、突き放してくる、自立と依存を繰り返しながら成長する。

○ ある調査で思春期の子どもが親に言われてイラッとくる言葉ランキング！

⑤起きなさい！④片付けなさい！③宿題しなさい！ ② ①

・イラッを超えて傷つく(イヤな)言葉？

○ スマホは、必需品？ (スマホは、車と一緒に) 現代は、車社会

○ 無条件でスマホを与えることは、( )

○ スマホでいじめ？

→子どもはいつもサインを出している(どうして見えないのか?)

○ メディアリテラシーの必要性

- ・大学生や大人も不祥事を起こしている。
- ・大人になっていきなりツイッターやフェイスブック・ブログ(いわゆるSNS)と言った新しいメディアと出会うとどうなるか？ ( )

○ 子どもとの約束(母から子へ「スマホ18の約束」)

アメリカのシャネル・ホフマンさんというお母さんが13歳の息子に送ったもの

○ 子どもと話し合ってスマホやゲームの使い方を決める。(見える化！)

○ もし、約束が守られなかったら・・・(イエローカード、レッドカード)

・親の本気度を子どもは、ちゃんと見ている！